森林と人をつなげたい
通信 森倶楽部21
2025年10月 第270号

私たちは、里山の自然に触れ、その地域の暮らしに学ぶ活動をしています。
長野県安曇野市の長峰山が主な活動場所です。
里山はたくさんの生きもののよりどころです。
たくさんの人と、この豊かな自然を分かち合い、未来に引き継いでいくことが願いです！

活 動 か ら

《蝶の森草原拡張部分の整備》

日　　時：9月2日（火）9:30～12:00　天気：晴れ　【里山保全活動】
参 加 者：会員5名
活動場所：蝶の森
活動内容：蝶の森草原の東側拡張部分の整備

先月17日、蝶の森整備のための見回りのおり、蝶の森草原南東側の草原拡張部分が拡張開始時以来、秋の下草刈り時以外手が入っていないため、残した木が大きくなったり、生えてきた低木やつる植物で藪になっているのを何とかしようという事になり、今回整備することにした。

巻き付いたツルの除去

鋸で枝払いや低木の除去、刈払機と手鎌で草刈り、ハサミで巻き付いたつるの除去などをして、シカが通るのを嫌がってくれるのを期待し刈り草は草原と林の境界に積み上げた。また、樹種の解らないものが少々あり、とりあえず残して後日どうするか決めることにした。

草原との境界に刈り草を積む

この日もとんでもない暑さだったが、時折気持ちのいい風が吹き、「やはり山はいいね」との言葉が飛び交った。今回新入会員1名が活動に初参加。今後の活躍が楽しみである

休憩時に、目の前のシカ除けネットにオオカマキリの巨大な♀に小さな♂が2頭しがみついているのを見た、この後どういう結末になるのか気になるところであった。

おんぶカマキリ

《指標植物調査》

日　　時：9月9（火）9:30～14:00　天気：晴れ【里山保全活動】
参 加 者：会員6名、小山泰弘氏（長野県林業総合センター）

活動場所：天平自然園、蝶の森
活動内容：指標植物調査、耕起実験区の植生調査

指標植物、耕起実験区を毎年同じ時期に調査することにより、草原の現状をモニタリングしている。この調査は特に昨年からはニホンジカ防護柵の効果を検証する目的も大きい。

まず、天平自然園のシカ防護柵内から始めた。リーダーの指示に従い調査する花でグループ分けをして一斉に動いて花の数を数えた。その後柵の外も同様に調べた。天平自然園ではツリガネニンジンが2023年に4本しか花茎がなかったが、柵設置後の2024は69本に跳ね上がり、今年は34本であった。ワレモコウが2023年にはいったんゼロになったが、今年は開花7本であった。

指標植物調査

蝶の森でもシカ防護柵内と外に分かれ同様に調査をした。蝶の森の草原では、柵内のタムラソウ、オミナエシ、ワレモコウが増加した。ゆるやかではあるが、着実に柵の効果がみられる。ツリガネニンジンはもともと柵外にあり、今年はとうとう1本のみであった。

耕起実験区の調査

午後は、4か所の耕起実験区を一区画ごと調べた。柵の中の調査区と柵外の調査区では植生が大きく異なるため、小山氏の提案で今年10月に地上部の草の量（バイオマス量）を刈り取って乾燥して計量しようということになった。

尚、詳しい調査結果は別途まとめHP上に掲載予定である。

ツリガネニンジン

ワレモコウ

タムラソウ

オミナエシ

《案内板製作》

日　　時：9月16（火）9:30～14:00　天気：晴れ【里山保全活動】
参 加 者：会員6名
活動場所：きより館
活動内容：案内板の製作

この日は各種案内板の製作に専念。きより館前にテントを張り、墨すり、

作業中

文字の下書き、墨入れ、焼き印押し、塗装と流れ作業で計 14 枚を完成させた。あわせて木製ベンチの塗装もおこなった。中でも下書き・墨入れは繊細な作業で、担当者の絶妙なコンビネーションで順調に進んだ。

作業場に１頭のウラギンシジミ♂が何に誘引されたのか現れ、仕事を応援するかのように最後まで離れなかった。南方系のチョウで、以前は珍しかったが今は居て当たり前の虫になっている。

なお花壇のトラノオが無残にシカに食い荒らされており、来年はシカがあまり好まないフジバカマを植えたらという案が出たが、最も嫌いな最強植物はジギタリスだそう。

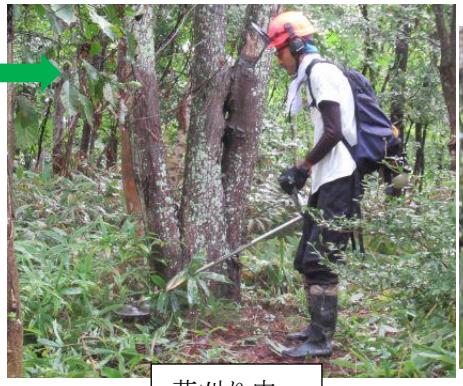
《森の小径遊歩道＆パノラマパーク遊歩道の草刈り》

日　　時：9 月 21（日）9:00～13:30　天気：晴れ【全体活動】
参 加 者：会員 8 名
活動場所：長峰山山頂から塔ノ原城趾、パノラマパーク遊歩道
活動内容：長峰山山頂から塔ノ原城趾入口への遊歩道(森の小径)、パノラマパーク遊歩道の草刈り

少し前までのあの暑さはなんだったのかと思うほど涼しい作業日和であった。

まず長峰山山頂駐車場に集まり、長峰山山頂から下へと、塔ノ原城址入口から上への二手に分かれ作業を進め、合流したところで休憩をとり駐車場へ戻った。

草刈り前



草刈り中

刈り草片付け

草刈り後

昼までにまだ時間があったので午後に予定していたパノラマパークの作業を行うことになり、山頂草原付近には刈った大量のササを残していたので、それを片付ける者２名を残して、各々の車でパノラマパークへ下った。

パノラマパークでも上と下の入口から二手に分かれ作業を行った。パノラマパーク内には倒木が多く、遊歩道をふさいでいた細いものは撤去し、太いものは通行に支障がないように処理した。

ササの片付けが終わったと同時にパノラマパークから草刈り終了の連絡が入り、金玉池の東屋に集まり反省会をしながら少し遅い昼食をとった。

午後は森林整備チームのメンバーは烏帽子峰の倒木現場の確認に烏帽子峰へ向かい、他のメンバーは帰路に就いた。

《ピットフォールトラップ調査見学》

日　　時：９月 28（日）9:00～10:00　天気：晴れ【環境学習活動】
参 加 者：会員４名、丸山隆氏（安曇野市誌編纂委員）
活動場所：天平自然園
活動内容：ピットフォールトラップ調査（地面に埋めた容器に落ちた、主に歩行性の昆虫などを捕獲する方法）見学

当会の監事である丸山隆氏から「安曇野市誌の甲虫調査を引き受け、今年は長峰山や光城山、押野山などの東山山系を中心にオサムシやゴミムシなど飛べない夜行性甲虫を調査していますが、妙なことに気付きました。たくさんいるはずの普通種クロナガオサムシがトラップに全く落ちず、以前ほとんど見られなかったヨリトモナガゴミムシが多く落ち、さらに糞虫（エンマコガネなど）がトラップ１個当たり10頭ほども落ちるのです。原因はニホンジカと思われ、植相が豊かな場所に生息するクロナガオサムシが減り、逆に貧弱な場所を好むヨリトモナガゴミムシとシカ糞を食べる糞虫が増えたのではないかと推測しています。」ということで、それを裏付けるためシカ柵内と外でトラップを仕掛けさせてもらえないかという依頼があった。今回はクロナガオサムシが夏眠を終える頃の調査として実施した。

設置のトラップ回収

トラップを集める

箱に空ける

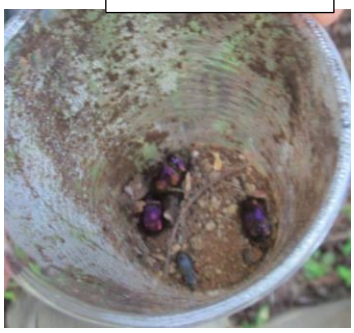
調べる

前日に丸山さんが天平自然園のシカ防護柵内に７箇所、柵外に５箇所のトラップを仕掛けたものを回収して落ちた虫を調べた。結果は丸山さんのほぼ推測されたとおりで柵内ではヨリトモナガゴミムシや糞虫の類が少なく、１箇所でクロナガオサムシが入っていた。柵外ではヨリトモナガゴミムシや糞虫の類が柵内よりも多く、シカによって植相が貧弱になっているのとシカの糞が多く落ちていることを示していた。この調査は、私たちにとってもシカ害の影響を証明する非常に重要な結果だと思った。

シカ防護柵 内

クロナガオサムシ

シカ防護柵 外



《きより館備品の整理》

日　　時：9 月 28（日）10:00～12:00　天気：晴れ【里山保全活動】
参 加 者：会員 4 名
活動場所：きより館
活動内容：備品の整理

ピットフォールトラップ調査を 10 時頃終了し、きより館に向かった。
当初は、案内板、情報表示板、樹木札の取り付けや瞑想広場にベンチを設置するなどを予定していたが、きより館での備品整理作業に時間がかかったため午前中を費やすことになった。
今年度、絵本「レモン色のチョウうまれたよ」を紙芝居にしたことで、資料の量も増えたので、専用のボックスに入れて、皆が利用しやすいよう、きより館に保管することにし、貸出簿も作った。きより館の環境では、そのまま置くとカビやネズミなど危険があるので、専用のボックスに入れ、蓋の裏にスポンジテープを張って気密性を高めるようにし、透明な箱なので日焼けを防ぐためにきより館に仕舞われていた布で覆った。多くの会員に利用して欲しいとわかりやすいところに置いた。また、いろいろな備品(特に事務用品)の場所が分かりにくかったので戸棚や箱の表面に名前シールを張ったり、仕舞われていた賞状などを壁に貼ったりした。すっきりしたので、「使ったものは元に戻す。」小学生の時言われた事を実行しなくてはと思った。

きより館片付け

ミニ自然観察会報告

9 月 28 日(日)　13:00～14:00　天気：晴れ
コース：天平の森駐車場～堤平～絆橋～カラマツ坂～天平自然園～天平の森駐車場
参加者：会員 4 名

一般参加者がいなかったので会員だけの寂しい観察会となった。
でも、植物の専門家がいたので、個々の植物や昆虫の細かい観察はもちろん、森全体の様子や変化にも注意を向けることができた。

植樹地Ｂの林床

シカの影響による植生の変化やいたるところにあるシカの食痕や糞が見られ、植樹地の林床にはほとんど植物がなく(草刈りの手間が省けて良いのか悪いのか・・・)、特に秋に咲く花が減少しているのが目についた。堤平は数年前には人の背丈ほどのススキが繁茂していたが、頻繁にススキを刈り取っていたことと、刈った後に生える若い芽はシカが食べるとのことで、現在はワラビやビロードモウズイカがポツンポツンと生えているのみという状態であった。今後どうなるのか観察を続けていきたいと思った。

【確認した開花植物】
草本　アキノウナギツカミ、イタドリ、イヌタデ、イヌヨモギ、ウシハコベ、オオバクサフジ、ゲンノショウコ、ゴマナ、シラヤマギク、ダンドボロギク、チヂミザサ、ツユクサ、ハナタデ、ヒメジョオン、ママコノシリヌグイ、ミズヒキ、ヤクシソウ、ヤブヘビイチゴ、ヤマハッカ、ユウガギク
実　カゼクサ、ノガリヤス、ハナイカダ、ハネガヤ、ヤマザトマムシグサ、ウリハダカエデ、ガマズミ、カラコギカエデ、クサギ、クマノミズキ、コバノガマズミ、タラノキ、ダンコウバイ、ツリバナ

【確認した昆虫】
キタキチョウ、スジボソヤマキチョウ、ジャノメチョウ、ヒメウラナミジャノメ、ミドリヒョウモン、アキアカネ、ヒメフキバッタ、ジョロウグモ、センチコガネ、リンゴドクガの幼虫の抜け殻、トビイロスズメの終齢幼虫

センチコガネ

※確認した植物や昆虫類の種名は、専門家による同定ではない場合もありますので、お気づきの方はご指導いただけるとありがたいです。

ミニ自然観察会のお知らせ

木の葉は何色になったかな？

次回は　10 月 26 日(日) 13 時 00 分　天平の森入口駐車場　集合
予約不要

2025 年 10 月・11 月活動予定表

	日	行　　事	集　合　場　所	時　間
10月	4（土）	安曇野環境フェア	安曇野市堀金総合体育館	8:30～16:30
	5（日）			8:30～15:30
	7（火）	里山保全活動	天平の森駐車場	9:30～
	14（火）	里山保全活動	蝶の森駐車場	9:30～
	19（日）	森林整備活動	烏帽子峰入口	9:00～
	21（火）	里山保全活動	蝶の森駐車場	9:30～
	26（日）	長峰山山頂草原草刈り	山頂草原駐車場	8:30～
		森林の里親促進事業	森林体験施設炊事棟	10:00～
		ミニ自然観察会	天平の森駐車場	13:00～
11月	4（火）	里山保全活動	天平の森駐車場	9:30～
	9（日）	森林整備活動	未定	未定
	11（火）	里山保全活動	天平の森駐車場	9:30～
	18（火）	里山保全活動	蝶の森駐車場	9:30～
	23（日）	矢ノ沢地区側溝ざらい	きより館	8:30～
		ミニ自然観察会	天平の森駐車場	13:00～

上記以外の活動や天候などで中止になる場合は、各担当リーダーから倶楽部メールにて連絡がでます

ハナイカダ

ウリハダカエデの実

ヤマザトマムシグサの実

クサギの実

カラコギカエデの実

ガマズミの実

会員を募集しています！

見学や入会の申し込みは、
随時受け付け中です。
お気軽にお問い合わせください。

◇会費　正会員　：3,000 円
　　賛助会員：4,000 円

一緒によい汗ながしませんか？

■発行
特定非営利活動法人
森倶楽部２１
■E-mail　npomoriclub21@gmail.com
■URL　https://mori21.com/
■https://www.facebook.com/morikurabu21